

令和元年（2019年）度第4回今治市地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時 令和元年12月2日（月）10：00～11：20

場 所 今治市役所 第2別館11階 特別会議室3・4号

出席者

- ・委員：越智 博，武田 輝大（代理），稲荷 和重，門田 正孝，渡辺 範之，
田所 秀志，赤尾 宣宏，上岡 大悟，島村 裕之，島崎 義弘，三好 哲，
村上 友則，丹下 隆志，吉良 雅文，村上 恵子，松村 暢彦，菊池 勝二，
西山 保幸，豊嶋 貴康（代理）
（欠席）平野 勇夫，高橋 節哉，佐々木 勇太，新居田 昌彦，砂田 篤志，
阿部 克也

- ・事務局：企画財政部 越智部長
地域振興課 武田地域振興局長（兼）地域振興課長、越智課長補佐，
丹下係長，吉川主事
株式会社 オリエンタルコンサルタンツ（計画策定業務委託先）

1 開 会

企画財政部長：

失礼いたします。定刻がまいりましたので、只今から「令和元年度第4回今治市地域公共交通活性化協議会」を開会させていただきます。

私、今治市企画財政部長の越智と申します。お手元に配布いたしております会次第に従いまして進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

なお、本日の会議には委員総数の過半数のご出席がございますので、本会が成立しておりますことをご報告いたします。

また、本会は規約により原則公開で行うこととしておりますので、本日も公開とさせていただきますと思います。

（配布資料確認）

続きまして、開会にあたりまして、今治市副市長 越智博より、ご挨拶を申し上げます。

2 あいさつ（今治市副市長）

越智会長：

皆様、おはようございます。

（各委員：おはようございます。）

本日は、大変お忙しい中、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。また、日頃より当市行政の推進に関しまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本協議会におきましては、今年度の「今治市地域公共交通網形成計画」策定に向けまして、皆様のお力添えのもと、各種調査等の取組みを推進して参ったところです。

本日は、先だって第3回目の協議会にてご承認いただきました「今治市地域公共交通網形成計画骨子」に基づき、いただいたご意見を踏まえながら、「今治市公共交通網形成計画（案）」をとりまとめしておりますので、こちらについてご審議をいただきたいと考えております。

委員の皆様には忌憚ないご意見をいただきながら、会議を進めてまいりたいと考えておりますので、本日もご協力のほどよろしくお願いいたします。

企画財政部長：

ありがとうございました。

（欠席委員について紹介）

続きまして、次第3「議事」に移ります。

ここからは進行を越智会長にお願いいたします。

3 議 事

（1）各種調査の結果等について

越智会長：

それでは議事に入らせていただきます。

本日の議題であります「今治市地域公共交通網形成計画素案」について、まず事務局に説明を求めます。

事務局（地域振興局 越智補佐）：

事務局の越智でございます。お手元に、資料1『今治市地域公共交通網形成計画（案）』をご用意ください。

1ページ目をお開きいただきたいと思います。目次でございますが、この計画は、1章「はじめに」から6章「取組の進め方」まで、大きく6つの章に分けてとりまとめをしております。

それでは、まず第1章から4章「公共交通に関する課題」までを、今回、網形成計画の策定及び調査業務を請け負っておりますオリエンタルコンサルタンツよりご説明いたします。

オリエンタルコンサルタンツ（東川）：

（資料1に基づき第1章から4章について説明）

事務局（地域振興局 越智補佐）：

（資料1に基づき第5章から6章について説明）

越智会長：

計画案の説明が終わりました。非常に膨大な資料でございます。ただいまの説明に対しまして、委員の皆様からご意見・ご質問等お聞きしたいと思います。

渡辺委員：

瀬戸内海交通の渡辺でございます。私、大島に住んでいるものですから、計画に関してではないのですが、14頁をご覧いただいたらと思います。宮窪の大島ストアとAコープがすでに無くなっています。博物館よりの所に大島ストアと同規模の関商店があつて、旧宮窪町の行政区域ではその店一つだけになっています。買い物難民の検討をされるのであれば、訂正をお願い

したいと思います。73 頁ですが、島しょ部は当社で運行させていただいております。急行線を幹線、島内線を支線としておりますが、大島営業所から友浦港に行っている友浦線が無くなっているのですが、何か理由があるのでしょうか。

武田局長：

ご指摘ありがとうございます。生活必需施設につきましては、洗い直しまして最新の情報に差し替えたいと思います。ご指摘をいただいたもう一点、路線の再編、幹線、支線に区分するイメージ図ですが、先程ご説明しましたとおり、現在のバス路線を基本としておりますので、本来は在るはずなのですが、印刷の関係で色味がでておりませんで、友浦線も現行路線として良く見えるようにしたいと思います。ご指摘ありがとうございました。

吉良委員：

老人クラブから来ております吉良でございます。私の住んでおります清水地区ですけど、山手側に住んでいる人達に話を聞くと、バスを利用するようにと話をしますとバス停に行くまでに約 1 キロ、往復 2 キロ、時間にしたら 1 時間かかる。バスは利用できないと話をされました。交通で何を利用しているかというタクシーです。月に 1、2 回通う病院に行くのに、済生会病院で往復 5 千円、県病院に行くまでに往復 1 万円かかる。そういうのを何とかしてくれないか、タクシーには助成金とか支援金とかはないのでしょうか。助成金ができるのであれば、タクシー料金を 1 割でも、2 割、3 割でも抑えてもらえるようなことをお願いできないかという話をされました。この会で、そういった話を考えられるのであればありがたいのですが。以上です。

越智会長：

ご意見、ご質問という形でいただきました。バス停までが遠いという中での、病院への通院に関する話だと思います。事務局何かありますか。

武田局長：

まず 1 点目のタクシーに関する助成制度があるのかということですが、一般の利用者に対しては現在のところ無いというのが実情でございます。そして、公共交通の路線が無いためにタクシーで病院に行くのに非常に費用がかかるというご指摘かと思うのですが、今後計画ができてからのこの協議会あるいは地元とのご協議になってこようかと思うのですが、当然バス路線中心に公共交通を残そうというのがまずは主体です。こうした中で今後先程話がありましたように利用のミスマッチ、大きな団地があって皆さん現役世代の頃は自動車で移動される、しかし時代が変わって高齢者の方が増えて、なおかつ病院に通わなければならないニーズが出てきたと、これに合わせて先程申しましたバス路線をニーズに合致した形に変えていくことができるのかということも含めて、この協議会の案件にしまして路線の再編を進めていかなければならないと認識しております。行政主体、交通事業者主体ではなく、地域の方からもご提案等をいただきながら、3 者が一体となって連携を取りながら、交通体系を少しでも地域のニーズに合った形に見直していけば良いのか、これは計画ができた後の次のステップとしてご協議させていただけたらと考えておりますので、今後ともご提案をよろしく願いいたします。

吉良委員：

私の地域ではこれから老人が増えるのですね、そうすると一人世帯が多くなる。自動車を持

っていけば良いのですが、持っていない世帯のことを考えていただきたい。

越智会長：

地域における、高齢化社会における課題の一つだと考えます。今後検討していく必要があるかと思えます。他にございませんでしょうか。

吉良委員：

地域と話し合いをすると書かれていますので良いなと思っておりますが、一応地域の声として話をさせていただきました。

門田委員：

お願いしたいことがあります。37 頁に書いてある「全体の 9 割程度がバス路線を必要と考えている」のはもっともで現実だと思います。それにつきまして、89 頁に小中学校でのバスの乗り方教室・出前講座があるのですが、これまでは小学校だけしか行っていなかったのですが、どうも最近見ますと中学生、高校生も乗り方を知らない人が多いのではないかと、このことを行政も考えていただきたい。予算がつくのであれば来年度から中学生や高齢者を対象に実施していくことを考えていただきたい。よろしくお願いします。

越智会長：

バスをどうやって乗ったら良いのか皆さんが知ること、そして馴染みのあるバスにしていく、公共交通機関にしていくことが大事だと思います。

丹下委員：

今治地方観光協会です。82 頁、内容・方法の説明文の中で、「村上水軍博物館」という名称が出ているのですが、網形成計画が今年度内の策定ということで時期的な問題もあろうかと思うのですが、明日から始まる 12 月議会によるのですが、新聞紙上ではすでに「村上海賊ミュージアム」という言葉も出ております。当然、12 月議会の議決が大前提となるのですが、こういう計画が来年度以降進んでまいりますので、事前に行政内の連携ということで表記ができるのであれば、20 年の 4 月 1 日に名称変更ということで、先程申しました「村上海賊ミュージアム」ということで周知もできるのではないかと思いますので検討をよろしくお願いいたします。

越智会長：

ご案内の通り、12 月議会に名称変更については提案しているところでございます。議決をいただいた後に、名称については修正等について考えたいと思います。他に、ございませんでしょうか。

西山委員：

愛媛運輸支局の西山と申します。お願いですが、今回事前に送付していただいた案につきまして、主に 93 頁の今後の計画目標についてより具体的に、詳しく記載していただくように提案させていただきました。具体的には、地域との対話であったり、シャトルバスの利用者という部分の定義付けやエコ通勤の目標設定などについて提案しました。事務局におきましては短い期間で、本日の協議会に合わせて修正対応していただいてありがとうございました。こういったことを当方が提案した理由なのですが、実は他の自治体さんで計画はできましたが国の補助要件を満たしていないために、必要な補助を受けられないというケースが実際に愛媛県でもありました。今後の計画、この計画は将来 5 年間かけて実施するものですから、こういうこと

がないように大きな方向性は原案そのまま、細かい部分について補助要件に沿うような提案を最後までさせていただきますので事前の情報提供をお願いいたします。

越智会長：

今後も、順調に計画の策定を進めるにあたって配布できる資料につきましては提供してまいりたいと思います。他にございませんでしょうか。

松村副会長：

全般的に良く書き込まれた計画になっていると思うのですが、1点だけ1頁のところでは上位計画、分野計画との関連性が書かれておりますが、内容を拝見しますと観光系の計画との整合性も図った方が良く考えます。観光の行政計画を入れることによって、3章の上位計画というところでも、どういう連携を図っていくのか書き込めるのかなと思います。

武田局長：

ご指摘ありがとうございます。観光振興計画につきましては、現在観光課で改正、見直しに着手していると聞いております。特に、本市の場合サイクリング、あるいは先程ご指摘をいただきました日本遺産の関係で、観光客を含めまして営業促進につなげる大きな柱になると思いますので、このあたりは観光課の計画の見直し状況と整合させまして、施策を書き込んでいきたいと思っております。よろしくをお願いいたします。

越智会長：

他にご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

越智会長：

それでは、皆様からいただきましたご意見について計画書に反映できる部分は反映し、修正作業を事務局に任せたいと思っておりますがいかがでございますか。

(各委員異議なし)

越智会長：

ありがとうございます。それではそのように取り扱わせていただきます。以上で次第3「今治市地域公共交通網形成計画(案)」についてを終わります。続きまして、次第4「今後の協議会のスケジュールについて」、事務局に説明を求めます。

4 今後の協議会スケジュールについて

事務局(地域振興局 武田局長)：

事務局の武田でございます。私の方から「今後の協議会スケジュールについて」ご説明させていただきます。

(資料3に基づき、今後の協議会スケジュールについて説明)

越智会長：

本日いただきましたご意見を踏まえまして修正した計画案を皆様にご送付させていただきますので、ご承認いただけたらと思います。また、併せて事業評価ということを書面審議でお願いしたいということです。ただいまの説明に対し、ご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

越智会長：

それでは、そのように取り扱わせていただくということでご異議ございませんでしょうか。

(各委員異議なし)

越智会長：

ありがとうございます。それではその方向で取り扱わせていただきます。以上で、次第4「今後の協議会スケジュールについて」を終了いたします。以上で、本日の議事が終了いたしました。皆様、ご審議ありがとうございました。それでは、事務局にお返しします。

5 閉 会

企画財政部長：

以上をもちまして、令和元年度第4回今治市地域公共交通活性化協議会を終了いたします。

長時間にわたりまして、誠にありがとうございました。

(了)